



06
ふれあい
教室開催

小学生を対象にふれあい教室を開催しました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました！

当日は、しっぽの森の事や動物の触り方について話を聞いてもらったあと、動物とのふれあいを楽しんでもらいました。

初めは動物とのふれあいに消極的な様子だった子供達も、時間が経つにつれ動物にも慣れてきたようで、自らリードを持って散歩をしたり、動物におやつをあげに行ったり、積極的にふれあいを楽しんでいました。

保護者の方からは、「動物を飼う前に体験や話ができるのが良かった」「子供に動物のさわり方を教えられた。リードを持つ体験ができて良かった」等のご意見を頂き、大変好評でした。

今後も、ふれあい教室を月1回程度開催予定です。
参加希望の方は、Instagramをフォローして、案内をチェックしてくださいね。



しっぽの森Instagramのご紹介

sanuki_shipponomori

しっぽの森では、Instagramで譲渡動物やイベントなどの情報を発信しています。しっぽの森でトレーニングを頑張る犬や、ふれあいルームでくつろぐ猫、イベント開催の様子など、様々な写真と共に、しっぽの森の様子をお伝えしています。

follow me



SANUKI_SHIPPONOMORI



是非一度、Instagramをご覧ください。



content

1. 令和4年度の振り返り
2. 新しい家族を迎えて～新たに猫を迎え入れるということ～
3. しっぽの森ボランティアサポーター活動紹介
4. アンケートコメント【犬編】
5. アンケートコメント【猫編】
6. ふれあい教室を開催！

01 令和4年度の振り返り

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、センター内でのイベントに加えて、センター外での出張イベントも多数実施することが出来ました。

また、コロナ前までとは言えませんが、来所者も回復傾向にあります。



報道にも取り上げられたとおり、**殺処分された犬の頭数が9年ぶりに全国ワーストから脱しました。**この結果は多くの方のご協力のおかげだと思っております。

この結果に満足せず、人と動物が共生する社会を実現するために動物愛護管理に関する普及啓発や犬猫の適正な譲渡推進に取り組みますので、引き続き、ご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

	犬		猫	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
収容数	1,220頭	1,420頭	779頭	697頭
譲渡数	742頭	1,004頭	445頭	439頭

※令和4年度の値は速報値



「飼いたい犬・猫」と「飼える犬・猫」は異なります。

だからこそ、しっぽの森からの譲渡を希望される方々には、じっくりと考えた上で、新しい家族を迎え入れていただきたいと思っています。今回は1様の体験談をお聞きました。

Q

最初に成猫(どんちゃん)を迎え入れることに決めた理由等があれば、教えてください。

A

小猫の兄弟を希望していましたが、最初にふれあったのがどんちゃんでした。ちょっと太めのフォルムがなんとなくかわいく、じっと動かずに永遠に触らせてくれて、おとなしそうな印象でした。家でも「もしどんちゃんが来たなら…」と家族で話し合っているうちに、「やっぱりどんちゃんを引き取ろう!子猫はどんちゃんが家に慣れた頃にまた考えよう!」となりました。



Q

新たに猫を迎え入れることに決めた理由等があれば、教えてください。

A

もともと多頭飼いに憧れていて、どんちゃんと半年暮らして猫との生活にも慣れた頃、あと2匹は欲しい…こんなかわいい猫が増えたらもっと楽しくなるだろうな～と思い始め…ちょうどその頃、同僚がしっぽの森で姉妹猫の譲渡を受けたのもひと押しになりました!次こそ子猫2匹!と決めていたのに、結局、5ヶ月の猫と1歳の猫を家族に迎え入れました(笑)ワクワクした半面、新入り猫に対するどんちゃんの反応が心配でした…心配は的中!最初の2ヶ月はどんちゃんと新入り2匹は隔離生活でした。どんちゃんがシャーシャーと怒り、ご飯のとき以外は2階に引きこもる生活。悲しそうに階段をゆっくり上がっていくどんちゃんを見ると涙がでそうになりました(泣)時が解決するの信じて、この状況を乗り切るために、とにかく何事もどんちゃん最優先!我慢強く2ヶ月待ちましたが、好転せず…もう隔離生活も限界!と、ほんの数分から3匹同じ空間にいることを始めて、おやつをあげたりしながら少しずつ時間を長くして…そこから10日ほどようやく1日中同じ空間にいられるようになりました。



Q

現在の3匹とご家族の様子をお聞かせください。

A

くっついて一緒に寝たり、ペロペロ舐め合うまで仲良くなって、夜、家族みんなが寝た後や日中猫たちだけを同じ部屋に残して出かけることも何の不安もなくなくなりました。ケンカもなく毎日3匹穏やかに過ごしています。家族みんな猫のかわいさに癒やされ、会話や笑顔は本当に増えました!毎日家に帰るのが楽しみになり、在宅率は高めです。



今回は、「しっぽの森ボランティアサポーター」として活動しているN様にお話を伺いました。N様は、トレーナーの資格をお持ちで、サポーターとして主に成犬馴化にご協力いただき、また、しっぽの森で開催するマナーアップ教室等への協力もお願いしています。

Q

しっぽの森ボランティアサポーターに登録しようと思ったきっかけ等を教えてください。

A

ドッグトレーナーを志すきっかけになったのが、捨てられた犬や猫の問題でした。ボランティアサポーター制度ができた時に、その初心を改めて思い出し、何かお手伝いできればと思って応募しました。

Q

しっぽの森に収容されている成犬の馴化にご協力いただいておりますが、印象に残っている成犬があれば教えてください。

A

たくさんいるのですが…出会った時は心配になるくらい痩せていた子がスタッフさんのケアで見違えるほど健康的になり、会うたびに元気になってドッグランでお散歩できたのがとても嬉しかったです。その子は、今は新しいご家族と幸せに暮らしていると聞いています♡

Q

しっぽの森の卒業犬を飼っている方に、一言アドバイスをお願いします。

A

人や外の世界など、怖がるものが多いというお悩みもあるかもしれません。無理をせず焦らず、でも諦めずに社会化に取り組んでほしいと思います。飼い主さんのことが大好きになると思いますが、その大好きな飼い主さんがそばにいてくれたら、外の世界にも少しずつチャレンジしていける心が育ってくるはずですよ。まずは一緒に楽しく暮らすことを一番考えてあげてくださいね。



アンケート
ありがとうございます

- どうしてこんなに怖がりなのか? いじめられていたトラウマ??
- 全く吠えないので番犬にならない

誤解されやすいのですが、しっぽの森の犬は大半が元野犬です。野犬は野生下で生き抜くために警戒心が強く憶病なことが多く、いろいろなものを怖がってしまいますが、虐待を受けていたわけではなく、あくまで生まれつきの性質です。気長に、ゆっくりと見守ってあげてくださいね。また、自分の存在を隠すため、なるべく吠えない犬もいます。番犬には不向き…?

- 経済的な負担が増えたり、生活リズムが変わったりして大変だが、もう家族の一員なので、苦にはならない
- 第二の子育てが始まったような感覚で、成長を見守っていけるのも楽しい
- 良いことも悪いこともあるが、出会えて良かった



新しい家族として、ありのままを受け入れてもらっていることが伝わってきます。

- 犬友達ができた
- 散歩中に近所の人と話す機会が増えた
- 犬の世話を家族で協力することで、コミュニケーションが増えた
- 犬に会いに、人がよく訪ねてくるようになった

犬を飼い始めて、人との会話が増えたという方は多いですね。動物を間に挟むと、知らない人に話しかけるときの心理的ハードルが大きく下がるそうです。

- 家に帰るのが楽しくなった
- 毎日が楽しくなった

おうちで誰かが迎えてくれる喜び、プライストレス!



今回、5年目を迎えるにあたり、今まで、みなさんからいただいた譲渡後アンケートのコメントを抜粋してご紹介します。しっぽの森を卒業して、新しい家族のもとでの様子、みなさん「あ、我が家と同じ!!」「そうそう、分かる!!」と思いませんか?



- 障子は全て破られました
- カーテンはボロボロになったけど、許せます
- レースのカーテンがビリビリに…しかたがない!!
- 全てを受け入れます

皆さん自己完結されている(笑) かわいいは正義!!

- ペットの防災について学べる機会があったら参加したい
- 猫をしつけるのは難しいと思うし、動物嫌いな人もいると思うので、避難所に行けないという前提で、家の中の防災対策を進めています

災害時、ペットは同行避難が基本ですが、状況によっては不可能な状況もあり得ます。様々なシチュエーションを想定して備えるのはとても良いことです。いずれにせよ、迷子札をつけておく、病気の予防をする等、日頃からの適正飼養が最も大切です。

- 猫がこんなに可愛くて癒されるとは!もう猫のいない生活は考えられません!
- とにかくかわいい
- ただただかわいい
- かわいすぎる

猫の飼い主さんは、犬の飼い主さん比べ、無条件の溺愛率が高い気がします…

- 今回譲渡を受けてみて、たった一匹の命しか救えないのか、と思うこともあります
- 私個人の力では一匹しか救えませんが、このひとつの命を大切に、愛情もって育てていきます



一匹の命を救うというのは、想像以上に大変なことです。まずは今一番身近な存在を、めいっぱい幸せにしてあげてください。